



歴史スポット探訪

この地に眠る、古代から現代にいたる各時代の偉人たちにまつわる伝説や史跡の数々をチェック。歴史を知れば、さらにおもしろい！

①草薙神剣を祀る本宮。神苑には樹齢1,000年を超える大楠など、多くの樹木が生い茂る

中世

天下を目指した武将が時代を切り開く

武士の台頭により幕を開けた戦乱の時代。尾張守護を務めた斯波氏に代わって頭角を現したのが、織田家だった。その後、家督を継いだ織田信長、その配下として天下統一を果たした豊臣秀吉、天下泰平を築いた徳川家康は、そろってここ名古屋で大きな飛躍を遂げた。

桶狭間の戦いの舞台へ！

1560年、織田信長と今川義元が激突した桶狭間の戦い。おけはざま山で休息していた今川軍を、織田の精鋭隊が急襲。信長が10倍以上もの圧倒的戦力差を覆して義元を見事に打ち取った、時代のターニングポイントだ！



名古屋緑区大高町城山
☎052・755・3242
(大高観光案内所)
☒24h、案内所は10:00～16:00(全日のみ)
園なし入場無料
園JR大高駅より徒歩12分

桶狭間の前哨戦として
若き日の家康が活躍

大高城跡

今川軍の尾張侵攻の前線基地だった大高城の跡地。義元の配下にいた松平元康(のちの徳川家康)が今川軍へ兵糧を届けた大高城の兵糧入れで知られ、元康はここから出撃して丸根砦を攻め落としている。現在は鷺津砦・丸根砦と合わせ、国の史跡に指定。

両軍の進路を見ながら
合戦の様子を実感！

桶狭間古戦場公園

桶狭間の戦いの中心地であり、今川義元最期の地と考えられている。かつては田楽坪とも呼ばれ、当時の地形や城、砦などがジオラマ化された史跡公園として整備。近くにある桶狭間古戦場観光案内所では、見どころ紹介や史跡ガイドの取り次ぎも行っている。



名古屋緑区桶狭間北3
☎052・755・3593
(桶狭間古戦場観光案内所)
☒24h、案内所は10:00～16:00
園なし入場無料
園市バス桶狭間古戦場公園バス停より徒歩2分



刀剣や甲冑など多様な美術品を鑑賞

名古屋刀剣博物館／名古屋刀剣ワールド

特典

国宝や重要文化財を含む刀剣を常時150振以上展示。豊臣秀吉・豊臣秀長など、武将・偉人ゆかりの刀も多い。銃や刀剣の重さ体験や、コスプレできるフォトスポットも人気。

名古屋市中区栄3-35-43
☎052・262・6000
☒10:00～17:00(入館～16:30)
園印(夜の場合翌平日)
園大人¥1,200ほか
園地下鉄大須観音駅②出口より徒歩9分

原始時代～古代

遺跡や神事などが、古を今に伝える

遺跡や古墳が多く見つかったことから、名古屋には縄文・弥生人なども住み、その歴史は有史以前からあったとされる。景行天皇の御代には、現在も多くの人に親しまれている熱田神宮が創建。王朝絵巻さながらの雅やかな舞楽神事など、古い神事も大切に守られている。

1,900年以上の長い歴史を持つ由緒ある神社

熱田神宮

創祀は113年。三種の神器の一つである草薙神剣を祀り、古くから朝廷や武将の崇敬を集めていた。現在でも「熱田さん」と親しまれ、年間700万人を超える参拝者が訪れる。凜とした空気に包まれた境内には、弘法大師が植えたと伝わる幹回り約7m、高さ約20mの大楠や、全国の崇敬者からの奉納品6,000点以上を収蔵・展示する宝物館、剣の宝庫 草薙館などがある。

名古屋熱田区神宮1-1-1 ☎052・671・4151
☒24h、宝物館と草薙館は9:00～16:30(入館～16:00)
園なし、宝物館は最終必参、草薙館は宝物館休館日の前日の必参、共に12/25～12/31
園宝物館と草薙館は大人¥500ほか 園地下鉄熱田神宮西駅②出口より徒歩7分



①織田信長が桶狭間での大勝のお礼として、熱田神宮に奉納した信長堀

ココにも注目！



剣の宝庫 草薙館

来国俊の短刀をはじめ、国宝・重要文化財に指定された刀剣20口、愛知県指定文化財12口など、熱田神宮に奉納された貴重な刀剣の数々を展示。月ごとに展示内容を入れ替え、体験コーナーや映像、史料でその魅力を伝える。

必勝祈願に
大出世！

歩いてパワーをもらう
ルートへGO!!

織田信長、豊臣秀吉、前田利家ら尾張武将の飛躍を
加護し、その強運にあやかるルートが整備されている

信長攻路～桶狭間の戦い 人生大逆転街道～

織田信長が天下布武にむけて大きく躍進するきっかけとなった桶狭間の戦いで、信長が駆け抜けたとされる3つのルートを総称して「信長攻路」と呼ぶ。信長の信念に思いを巡らせながら歩くことで、前向きな気持ちになれるに違いない。

豊臣秀吉ゆかりの地へ！

古くから子連れ参拝が多く
幼い秀吉も訪れたと伝わる

太閤出世稲荷 (高座稲荷社)

熱田神宮の摂社であり、子育ての神として信仰される高座結御子神社の境内に鎮座。幼い秀吉が、母に手を引かれ参拝したと伝わることからその名が付いた。立身出世や商売繁盛を願う参拝客も多い。

名古屋熱田区高蔵町9-9
園地下鉄西高蔵駅より徒歩5分

秀吉が布陣した城が
寺宝を守る宝物館に

龍泉寺(龍泉寺城)

名古屋城を鎮護する尾張四観音の一つ。庄内川南岸の崖上にあり、戦国期には城として利用された。小牧長久手の戦いで、秀吉は境内北側の龍泉寺城に布陣。現在、城は復元されて宝物館になっている。

名古屋守山区竜泉寺1-902 ☎ゆとり
園とライン竜泉寺口バス停より徒歩3分

地域での信仰厚い古社
境外の摂社も参拝を！

下中八幡宮

中村公園駅から歩いて7分ほどの場所にあり、豊臣秀吉の氏神と伝わる神社。1156年、源為朝が創祀に関わったとされる。境外の摂社には、秀吉の母・なかが誕生祈願をしたと伝わる日之宮神社がある。

名古屋市中村区押木田町1-1 園地下鉄中村公園駅⑥出口より徒歩7分



マークの見方 ● 園住所 ☎ 電話番号 ☒ 営業時間 園定休日 園料金 園アクセス
特典 検定合格者特典(詳細はP38)



尾張徳川家に伝わる
名品の数々を所蔵・展示

徳川美術館

徳川家康の遺品を中心に、尾張徳川家初代義直以下、代々の遺愛品(大名道具や美術工芸品、茶道具など)を収める美術館。10,000件余りの所蔵品には、三代將軍家光の娘・千代姫の婚礼調度「初音の調度」や徳川家ゆかりの刀剣をはじめ、国宝9件、重要文化財59件が含まれる。大名家伝来家宝の所蔵では日本最大規模であり、さまざまな特別展や企画展も開催。

④大名の生活と文化を紹介する名品コレクション展示室。約1か月ごとに作品を入れ替える

国名古屋市中区徳川町1017
☎052-935-6262
☒10:00~17:00(入館~16:30)
団体(※の場合翌平日)、年末年始
国大人¥1,600ほか
国JR大曽根駅より徒歩10分

近世

徳川御三家筆頭のお膝元として発展

江戸時代の民謡の一節に「尾張名古屋は城でもつ」とうたわれたように、徳川御三家筆頭の尾張徳川家と共に繁栄を極めた。初代・義直、二代・光友は学問を好み、城下町名古屋の礎を築く。その後、七代・宗春の自由奔放な治世に、「芸どころ」名古屋の文化が華開いた。

蔵書数14万点の名古屋市蓬左文庫

徳川家康の遺品として分与された蔵書「駿河御譲本」をきっかけに形成された、尾張徳川家の御文庫がはじまり。尾張徳川家の旧蔵書を中心に、貴重な和漢の古典籍や多彩な絵図を所蔵している。蔵書閲覧のほか、展示や講演会も実施。

常設展示室には、名古屋城二之丸の能舞台などを部分的に復元。仮想的空間で当時の貴重な作品を見られる。



コレに注目!

歴史と伝統が描き出す 自然景観の美を象徴的に凝縮

徳川園

特典

尾張二代藩主の徳川光友が、1695年に隠居所である大曽根屋敷に移り住んだことが起源。自然景観を象徴的に凝縮した池泉回遊式の日本庭園で、見事な巨石の岩組みや、水量が増えて沢飛石が没する趣向をこらした龍門の瀧が特徴的だ。2022年に、園内のレストランやカフェをリニューアル。



国名古屋市中区徳川町1001
☎052-935-8988
☒9:30~17:30(入園~17:00)
団体(※の場合翌平日)、年末年始
国大人¥300ほか
国JR大曽根駅南口より徒歩10分
③3段に流れ落ちる大曽根の瀧

清流が滝から渓谷、海へと流れる様子を表現している



貴重な建物が残る尾張徳川家の菩提寺

徳興山建中寺

1651年、尾張二代藩主の徳川光友が、父義直を弔うために創建した浄土宗の寺院。尾張徳川家の菩提寺であり、建物の多くは国指定重要文化財や名古屋市の指定文化財などになっている。三門は三間一戸の様式による重層様門。権現造りの靈廟には、歴代藩主の位牌を安置。

国名古屋市中区筒井1-7-57☎052-935-3845
☒5:00~17:00(※の場合翌平日)参拝無料
国地下鉄車道駅①出口より徒歩10分



④総檜造りの三門は創建当時の建物。二階には、宝冠釈迦牟尼仏を中心に十六羅漢の像などが祀られている(非公開)

‘藩主の寺。から’民衆に開かれた寺。へ

八事山興正寺

高野山真言宗の別格本山。1688年の創建で、尾張藩二代藩主の徳川光友をはじめとした尾張徳川家の祈願所として信仰を集めた。1808年の五重塔建立をきっかけに民衆の参拝者が増加。現在も毎月5・13・21日の縁日には露店が立ち並び、老若男女問わずにぎわいをみせている。

国名古屋市中区八事町78☎052-832-2801
☒24h、納経所は8:00~17:00(※の場合翌平日)参拝無料
国地下鉄八事駅①出口より徒歩3分



④五重塔は、国の重要文化財に指定されている。春は桜、秋は紅葉が彩りを添え、美しい景観となる

マークの見方 ●国住所 ☎電話番号 営業時間 国定休日 国料金 国アクセス
特典 検定合格者特典(詳細はP38)

近代～現代

陶磁器産業や機械工業が経済をリード

明治期には陶磁器の給付け・加工業が発達。近隣の陶磁器の産地まで街道が走り、海運にも利便性が高いことから、ノリタケやナルミなど世界に名をはせるブランドが誕生した。また、時計やバイオリンがこの地で国産化され、豊田佐吉や大隈栄一が機械工業を興した。

大正末期の趣ある姿を今に伝える豪商の邸宅

文化のみち 榎木館

特典

輸出陶磁器商として成功し、業界の発展に貢献した井元為三郎が、大正末期から昭和初期に建てた邸宅。ステンドグラスが贅沢に使われた洋館の旧応接室は現在、カフェに。大正ロマンあふれる空間でティータイムが楽しめる。

国名古屋市中区榎木町2-18☎052-939-2850☒10:00~17:00
団体(※の場合翌平日)、12/29~1/3国大人¥200、中学生以下
無料国地下鉄高岳駅①出口より徒歩10分



オレンジの屋根が印象的な和洋折衷建築

文化のみち 二葉館

特典

日本の女優第1号の川上貞奴と、電力王と呼ばれた福沢桃介が大正から昭和初期にかけて居住。斬新さと豪華さから「二葉御殿」と呼ばれ、政財界人や文化人の集まるサロンとなった。ステンドグラスや螺旋階段のランタンも必見。

国名古屋市中区榎木町3-23☎052-936-3836☒10:00~17:00
団体(※の場合翌平日)、12/29~1/3国大人¥200、中学生以下
無料国地下鉄高岳駅②出口より徒歩10分



近代化の歩みを伝える 文化のみちを散策しよう

文化のみちとは、名古屋城から徳川園に至る一帯を指す。江戸時代の武家屋敷がルーツであり、近代になると日本の産業をリードした起業家が多く暮らしていた。そのため、江戸から大正時代にかけての名古屋の近代化の歩みを伝える、貴重な歴史遺産が集まっている。

美的センスにあふれた先進的な設計デザイン

旧豊田佐助邸

発明王・豊田佐吉の実弟、豊田佐助の邸宅。洋館と和館で構成され、洋館の1階には、蓮の雷の形をした照明や、鶴亀に

とよだの文字をデザインした換気口が見られる。いち早く水洗トイレや耐震構造を取り入れた点もポイント。国名古屋市中区主税町3-8☎052-222-2318(名古屋まちづくり公社)☒10:00~15:30(※の場合翌平日)、12/29~1/3
国入場無料国地下鉄高岳駅①出口より徒歩15分



武田五一が得意とする和と洋の調和に注目

旧春田鉄次郎邸

陶磁器貿易商の春田鉄次郎が、建築家の武田五一に依頼して建てた邸宅。洋館と和館で構成され、洋館2階や和館では、実際に使われた家具や建物細部のデザインを見学できる。レストランとして営業している洋館1階は見学可能。

国名古屋市中区主税町3-6-2☎052-222-2318(名古屋まちづくり公社)☒10:00~15:30(※の場合翌平日)、12/29~1/3
国入場無料国地下鉄高岳駅①出口より徒歩15分



名古屋らしさを表現した意匠が各所に

名古屋市役所本庁舎

昭和天皇御大典事業として、1933年に竣工。西洋的な建築様式に日本的な要素を盛り込んだ独創性が高く評価され、隣接する愛知県庁本庁舎と共に、国の重要文化財に指定。中央にそびえる高さ53.5mの時計塔がシンボルで、緑の瓦や四方にらみのしゃちば、すぐ近くにある名古屋城との調和を図ったデザインになっている。

国名古屋市中区三の丸3-1-1☎052-961-1111(代)
☒8:45~17:30(※の場合翌平日)、年末年始
国見学無料国地下鉄名古屋城駅②出口より徒歩1分



ココにも行こう!
歴史的価値の高い
建物を見学



現代に受け継がれる 芸処名古屋の真髄を 知る!

1730年、徳川宗春が尾張七代藩主となると、名古屋は芸処として発展していく。幕府の質素倹約令とは異なる独自の政策、すなわち規制緩和による経済活動の活性化を図り、その結果、名古屋城下の暮らしは豊かになっていった。こうして、今に続く芸処名古屋の礎が築かれたのだ。

どどいつ(都々逸)

実は熱田が
発祥!

七・七・七・五の26文字で歌われる定型詩の一つ。三味線を伴奏楽器とし、節を付けて寄席や座敷などで唄われる俗曲だが、そのルーツは熱田にあった。文化年間(1804~18年)のころ、東西交通の要衝だった熱田に入ってきた江戸の潮来節と、上方のよしこ節を茶屋の仲居がアレンジ。この節が江戸でも評判となり、どどいつというジャンルが広がったと言われている。

地下鉄伝馬町駅南東の住宅街に立つ「都々逸発祥之地」の碑



アート&カルチャー

尾張藩主・徳川宗春の時代に花開いた芸処としての名古屋。今なお、多くの伝統文化が受け継がれている。



日本のお笑いのルーツ

尾張万歳

新年を祝うと共に、福や富を呼び込む正月の祝福芸能である万歳。国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統芸能だ。扇子を持って祝詞を唱える太夫と、鼓を打って合の手を入れる才蔵の2人一組で演じるのが門付け万歳の基本。それに3人、5人、7人で演じる御殿万歳がある。時代が下ると、江州音頭と一体化して笑いの要素が加わり、漫才として興行化。これが大阪に伝わり、現在の上方漫才の基礎となったと言われている。

儀式性と娯楽性を併せ持ち、芸能史上重要なものとされる



現在では、名古屋城や知多市尾張八幡神社などで公演を行っている(写真はイメージ)



東京日比谷公会堂で演じた3代目長福太夫(写真は1930年ごろ)



才蔵が増えたり、楽器が加わったりもする(写真は1955年ごろ)



正月に万歳列車が運行した時代もある(写真は1960年代初め)

基本の五万歳

1 法華経万歳
無住国師が最初に作った万歳。仏の教えを歌にし、天台宗や日蓮宗の家で演じる

2 六条万歳
親鸞の一生や本願寺の素晴らしさをうたったもの。浄土真宗の家で行なわれる

3 御城万歳
徳川幕府の将軍が住む江戸城や、江戸の大屋敷などの繁栄ぶりをうたうもの

4 神力万歳
熱田神宮を建てる様子をうたったもので、檀家の座敷で神仏に對して行われる

5 地割万歳
屋敷を建てる時に祝う万歳。演じる時と場所を選ばない。5つのうち最も後代の作

31輛が名古屋市の文化財に指定

山車文化



中村区 紅葉狩車 (花車神明社祭)

旧広井村の上花車が所有する山車で、搭載するからくり人形は能の「紅葉狩」をモチーフにしたもの。大将の平維茂と従者のサンピン、鬼女に変身する更科姫、ざい振り人形の唐子の4体が載る。

東区 神皇車 (簡井町天王祭)

明治時代に広井町新屋敷から簡井町で購入した。名の由来である神功皇后をはじめ、武内宿禰・巫女・唐子の4体の人形が載る。巫女が白煙の中で赤い顔の龍神へ変身する様が、からくりの見どころだ。



緑区 布袋車 (有松祭り)

有松東町が明治時代に購入し、かつては若宮祭りでも曳かれた。名古屋型山車の旧態を留めているとされる山車には布袋、蓮台に載った文字書き唐子、蓮台を回す唐子、ざい振り人形が載る。

守山区 大森天王車 (大森天王祭)

明治時代に名古屋駿河町から購入したとされる。かつては山車の曳行を若い衆が担ったが、現在では厄蔵の人たちが中心。山車の前棚には三番衆のからくり人形を載せ、夜には上山に提灯を飾っていた。



茶の湯文化と共に発展し、和菓子職人の技も磨かれていった。公募で選ばれた新しい和菓子8品による「なごや菓八菓」も誕生した



茶道の流行をきっかけに発展

和菓子処

名古屋は全国屈指の和菓子処。これには、尾張徳川家の茶の湯好きが関係している。西三河南部の茶、瀬戸の陶磁器といった名産品が地元でそろうことも手伝い、江戸後期には町人の間でもブームに。農民も農作業の合間に野良で抹茶を楽しんだ。それに伴い、茶請けの和菓子づくりも発展。和菓子店が続々と創業し、今なお続く老舗もある。

中部・東海の音楽界をリードし続ける

名古屋フィルハーモニー交響楽団

名古屋市に拠点を置く、日本有数のプロ・オーケストラ。楽団創立は1966年。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く話題を発信している。現在は、意欲的なプログラミングの「定期演奏会」をはじめ、障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」など、バラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演している。愛称は「名フィル」。



まだある!
アート情報

「富嶽三十六景」でおなじみの江戸の浮世絵師・葛飾北斎は、名古屋に縁のある人物。約200年前、縦18mの大だるまを即興で描くイベントを名古屋で開催し、「だるせん(だるま先生の略)」というあだ名が生まれた。また、「北斎漫画(ほくさいまんが)」も名古屋で誕生した本だ。

目と耳で 芸術と文化を 体感する！

江戸時代に華開いた芸処・名古屋の文化は、脈々と現代に受け継がれている。能や狂言に演芸、建築、地元作家の作品やコレクターが収集してきた美術品など、この地域に残された芸術と文化に市内各所で親しむことができる。

とうさんきや 東山荘

名古屋の茶人もこよなく 愛する山荘の茶室



綿布間屋であった伊東信一の別荘として、瑞穂区の山崎川沿いに建てられたもの。1936年に亡くなった伊東の遺言を受け、一般公開を開始した。戦争の影響による公開中止、市長公舎としての活用を経て、1968年より茶室や和室などの貸室として利用されている。約3,600坪ある広大な庭には、雁行形に連なった主屋がある。

名古屋市中区瑞穂区初日町2-30 052-831-2672 9:00～16:30
(庭園見学は～16:00) 団体(夜の場合翌平日)、12/29～1/3
庭園園見学は無料 図地下鉄瑞穂区役所駅①出口より徒歩12分

茶庭を備えた個人コレクションの美術館

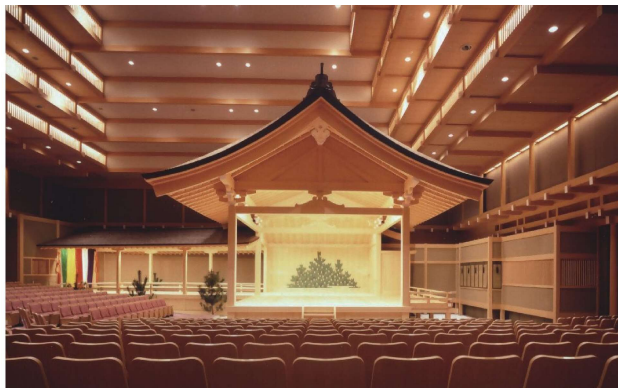
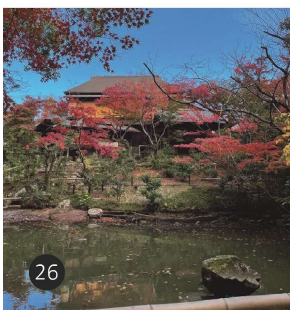
昭和美術館

特典

創設者である後藤幸三が長年にわたり収集した茶道具や書など、重要文化財4点を含む約800点を所蔵。年3回の展覧会ごとに、テーマにあわせて展示替えを行う。また、自然林を生かした2,200坪の敷地内に広がる茶庭も見ものだ。カサセミなどが訪れる池を中心に、愛知県指定文化財である「南山寿荘」をはじめとする建物が点在する。

名古屋市中区昭和区夕見町4-1 052-832-5851 10:00～16:30
(最終入館16:00) 団体(夜の場合開館)、指定休、夏期、冬期
図一般¥1,000ほか 図地下鉄いりなか駅①出口より徒歩15分

③創設者が住まいとしていた南山寿荘(通常は非公開) ④本館では季節ごとに約30～40点を展示



木曾檜が香る 世界最大級の常設能楽堂

名古屋能楽堂

1997年、名古屋城正門前に開館。伝統的な日本建築様式の優美な建物の中に木曾檜造りの能舞台がたたずみ、見所(観客席)は630席と広々。年に6回の定例公演では、イヤホンガイドによる演能の解説が聞けるので、初心者でも楽しむことができる。能舞台の裏側について知ることができるバックステージツアーやワークショップなども実施。

名古屋市中区三の丸1-1-1 052-231-0088
9:00～21:00(展示室～17:00) 図12/29～1/1
図展示室無料 図地下鉄浅間町駅①出口より徒歩10分、またはなごや観光ルートバスメグル名古屋下車すぐ

④名古屋能楽堂には老松と若松の2枚の鏡板があり、1年ごとに替えられる。今年度は若松(杉本健吉作)

陶磁器生産が盛んだった名古屋の姿を紹介

横山美術館

特典

明治・大正時代に制作された輸出陶磁器の「里帰り」品を中心に展示。日本初の洋風陶磁器であるオールドノリタケ、華やかな色使いの名古屋絵付、写実的でみずみずしい染付の瀬戸焼など、日本の各産地から輸出されて欧米で人気を集めた品々5,000点以上を収蔵。絵付け体験講座をはじめ、企画展に関連したイベントも実施する。

名古屋市中区東区葵1-21 052-931-0006
10:00～17:00(最終入館16:30)
図(夜の場合翌平日)、夏期、年末年始
図一般¥1,000ほか
図地下鉄新栄駅①出口より徒歩4分

②陶磁器絵付け工場でにぎわった東区に立つ③オールドノリタケ「ジュール金盛薔薇図花瓶」明治24～44年



マークの見方 ● 住住所 〇 電話番号 〇 営業時間 〇 定休日 〇 図 料金 〇 アクセス
特典 検定合格者特典(詳細はP38)



郷土美術やエコール・ド・パリなどが充実

名古屋市美術館

市の中心部に位置する白川公園内。三岸節子ら東海エリアの作家、モディリアーニをはじめとするエコール・ド・パリ、フリーダ・カーロなどのメキシコ・ルネサンス、荒川修作、河原温、桑山忠明といった現代美術作家の作品を収蔵・展示する。建物は愛知県ゆかりの建築家、黒川紀章が設計。日本の伝統的手法や色彩が織り交ざる。

名古屋市中区栄2-17-25 白川公園内 052-212-0001
9:30～17:00(夜を除く 図は～20:00、最終入場は30分前)
図(夜の場合翌日) 図常設展大人¥300ほか、特別展はその都度定める 図地下鉄伏見駅⑤出口より徒歩8分



④上村松園「初秋」1943年頃
古川美術館蔵

▲古川美術館 図 爲三郎記念館。多岐にわたる事業を手掛けた実業家・古川爲三郎が戦前より収集する美術品を寄附して設立

爲三郎が寄付した美術品と数寄屋を楽しむ

古川美術館・分館 爲三郎記念館

特典

明治から昭和中期に描かれた近代日本画を中心に2,800点の作品を所蔵する古川美術館と、1934年に創建し、数寄屋建築で国登録文化財にも登録されている分館 爲三郎記念館から成る施設。爲三郎記念館内に併設されている「数寄屋 de Café」では、四季折々の和菓子和抹茶などを日本庭園や展示作品を見ながら楽しむことができる。

名古屋市中区千種区池下町2-50 052-763-1991
10:00～17:00(最終入館16:30) 図(夜の場合は翌日)
図共通券大人¥1,200・図地下鉄池下駅①出口より徒歩3分

アート&カルチャー

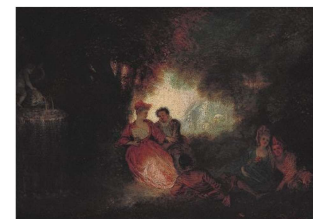
フランス美術300年の歴史がわかるコレクション

ヤマザキマザック美術館

特典

ヤマザキマザック前会長の山崎照幸が創立。自身が収集した美術品を展示する。印象派、アール・ヌーヴォーなど、18世紀から20世紀までのフランス美術の流れが一望できるコレクション構成が特徴。なかでも、ロココ期を代表する画家、アントワヌ・ヴァトールの作品は必見。作品の額からはガラスが外され、絵肌を直接鑑賞できる。

図名古屋市中区葵1-19-30 052-937-3737
10:00～17:30、⑤(夜)は～17:00(最終入館は30分前)
図(夜)の場合は翌日 図常設展一般¥1,000ほか、特別展料金はその都度定める 図地下鉄新栄町駅直結連絡



④ジャン＝アントワヌ・ヴァトール
「夏の木陰」1715年頃



⑤ビル正面にロダンの彫像が。展示室は往時の邸宅の雰囲気

大須演芸場

芸処名古屋の中心地であった大須に1965年開館。2014年に閉館したが、大須と芸能を愛する同志が集い、装いを新たに翌年復活。落語や講談、漫才など演目は幅広く、コント55号、横山やすし・西川きよし、ツービートといった大御所も高座に上がったことがある。また、運気が上がると評判のTシャツをはじめ、オリジナルグッズも販売。

名古屋市中区大須2-19-39 0577-62-9203
(コールセンター、受付9:00～18:00)
図定席寄席は毎月1～7日の11:00～、14:30～
※変更になる場合あり。詳細はHPを確認
図不定休 図大人¥3,300ほか
図地下鉄大須観音駅②出口より徒歩3分



②東西の演芸家と名古屋の芸人らが融合する特別な場所。2025年9月に10周年を迎えた
③1階は椅子席131席、2階は座敷48席

大須を笑いで彩る、東海圏唯一の常設寄席小屋





祭り&イベント カレンダー

時代絵巻さながらの郷土英傑行列や街角狂言など、歴史や伝統に親しむ祭りから、コスプレの祭典まで、伝統と革新が融合した名古屋文化を楽しもう！



英傑行列の途中では、戦国時代の合戦を再現した演技も
見事な山車が市中を練り歩く

市中をにぎやかに盛り上げる名古屋最大の祭り

【10月】名古屋まつり

1955年に始まった名古屋の秋を彩る祭り。郷土英傑行列をはじめ、市指定文化財 山車揃や市文化財 神楽揃、華やかなフラワーカーが市中心部を行進する大規模な行列が登場。久屋大通公園や名古屋城など、複数の会場でイベントが楽しめる。名古屋市科学館や東山動植物園といった市内の観光施設の無料開放も実施。

郷土英傑行列が見もの！

祭りのメインとなるのは、豪華絢爛な郷土英傑行列。織田信長・豊田秀吉・徳川家康の三英傑が、濃姫・ねね・千姫の三姫、ほか鎧武者たちを従えて市中を行進する。



織田信長



豊田秀吉



徳川家康

世界最大級のコスプレの祭典を名古屋で開催

【8月】世界コスプレサミット

日本のアニメやマンガ、ゲームのキャラクターに扮したコスプレイヤーたちが、各国から名古屋に集まる。華麗なパフォーマンスを競うワールドコスプレチャンピオンシップのほか、ステージイベントなどを実施。2003年にスタートし、2017年には名古屋がコスプレホストタウンを宣言。世界中から20万人以上のポップカルチャーファンが訪れるコスプレの聖地となっている。



©世界コスプレサミット実行委員会

世界の頂点が決定！



①2025年は41の国・地域の代表選手たちが来日した
②コスプレパレードの聖地、大須観音での集合写真

世界一の総踊りとしてギネスに認定！

【8月】にっぽんど真ん中祭り

名古屋市を中心に行われる踊りのイベントで、通称“どまつり”。国内外から集まる約200チーム、約20,000人が地域色豊かな踊りを披露。自分の住む地域の民謡を取り入れることが参加条件となり、それぞれが地元をアピールする。2010年、名古屋開府400年にあたる年には、9,481人が名古屋で踊り、「最も大規模な鳴子踊り」としてギネス世界記録™に認定された。

©にっぽんど真ん中祭り



①久屋大通公園など14会場で開催。2025年は202万人以上が来場し、名古屋文化を演出した「kagura」が大賞に



暑い夏の風物詩

名古屋のまちなかで多彩な伝統芸能などを堪能！

【10・11月】やっとかめ文化祭DOORS

まちなかで伝統芸能をはじめ名古屋の文化体験ができる。2023年から「やっとかめ文化祭DOORS」とし、名古屋の文化の入口となるまちの祭典を目指している。辻狂言やストリート歌舞伎をはじめとした「まちなか芸披露」、まちを見て・聞いて・歩いてなごやを学ぶ「旅するなごや学」、*自慢したい、名古屋の和菓子。をテーマにした和菓子企画「なごや和菓子」など、バラエティ豊かなプログラムを開催する。



気軽に文化体験

①アクション満載のストリート歌舞伎②2023年よりパワーアップ。多彩な文化体験を通して、名古屋の魅力を再発見！



港まちで生まれる、音楽とアートに触れる

【11～3月ごろ】アッセンブリッジ・ナゴヤ

*メインプログラムの開催時期

名古屋の港まちで行われる音楽と現代アートのフェスティバルとして2016年にスタート。2020年度までは公共空間や空き家などで展覧会やコンサートを開催。2021年度からは、国内外のアーティストが滞在して制作や活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス(AIR)」という新たな取り組みへ移行。これに伴う展覧会やコンサートなども開催している。



写真提供：アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会

この祭り&イベントにも注目！

【熱田区／1月】歩射神事(熱田神宮)

豊年と厄災を祈る神事で、毎年1月15日に行われる。直径1.8mの的の中央に取り付けた*千木、と呼ばれる木片を目がけて、6人の神職が36本の矢を放つ。



【中区／5月】若宮祭り(若宮八幡社ほか)

名古屋三大祭の一つ。2日にわたって開催され、初日は山車が当番町内を曳き回され、2日目は神輿と共に本町通りを通過して那古野神社まで曳き出される。

【中村区／5月】太閤まつり

豊田秀吉を祀る豊國神社(中村区)の例祭。豊太閤頭巾行列や出世稚児行列、神輿、中村公園での野外ステージなどで盛り上がる。5月18日の直前の週末に開催。

【東区／6月】天王祭

6月の第1土・日曜に、東区筒井町と出来町で行われる山車祭り。筒井町では2両(➡P25)、出来町では3両の山車が曳き回され、初夏の風物詩として親しまれている。

【緑区／6月】有松絞りまつり

有松の旧東海道一円で開催。絞り製品が販売されるほか、染色体験、実演やまち並みツアーなども実施され、有松・鳴海絞りの魅力を堪能できる。

【西区／7月】円頓寺七夕まつり

円頓寺商店街の夏の風物詩。商店街の店主たちが手作りするハリボテ飾りや吹き流しがアーケードを彩り、多くの出店にぎわう。ステージイベントも実施。

【港区／7月】海の日名古屋みなと祭

名古屋港の夏を彩る一大イベント。パレードや総おどりなど、多彩な催しを実施。海の日にガーデンふ頭一帯で打ち上げられる約3,000発の花火でフィナーレを飾る。

©海の日名古屋みなと祭協議会



【中区／10月】大須大道町人祭

大須商店街で行われる、市民による市民のための祭り。ジャグリングや舞踏、パントマイムといったさまざまな芸のほか、おいらんどなどを見ることが出来る。

